

第9章 対完成工事高比率の分析

本日のテーマ

①各種の完成工事高利益率

資本利益率は投資に対する総合的な収益性

収益－費用＝利益

∴収益と費用のバランスを考えるうえで大事な指標

②各種の完成工事高費用率

個別の利益管理は、第8章の利益の意義とからめると理解しやすい

ここでは、下記の指標をしっかり押さえよう

- ・完成工事高キャッシュフロー率
- ・完成工事高対金融費用比率

③マトメでは、練習問題を実施します！

①各種の完成工事高利益率

②各種の完成工事高費用率

★純キャッシュフロー（常識的に計算しよう→純流入額）

利益に下記の要素を加減するべし！

- ・法人税調整額→実際に払ったものではない
- ・減価償却費・貸倒引当金増減（繰入・戻入）→非資金費用
- ・剰余金配当額→P Lに計上されていない

設例 9-3 は下の計算でもOK（22期でみてみよう）

$$\begin{array}{rcccccc} \rightarrow 41,500 & - 16,600 & + 3,400 & - 1,160 & - & 8,200 & = 18,940 \\ \text{税前利益} & \text{税金} & \text{減費} & \text{非資金費用} & \text{配当} & & \end{array}$$

★純金利＝金融費用－金融収益

純支払利息＝支払利息－受取利息配当金

金融収支＝金融収益÷金融費用×100（分子分母が逆・収支の順番で計算イメージ）

★費用の注意点

人件費→役員報酬・給料・福利厚生費・退職金

労務費→工事に直接従事した従業員の費用

③マトメでは、練習問題を実施します！

マトメ

9.1 相違点

総利益率→当該会社の取扱い工事のもうける力を算定

営業利益率→本業のもうける力

経常利益率→財務収益・財務費用などを加味した経常的な経営活動の成果

当期純利益→会社のもうける力

キャッシュフロー→営業CFであれば、売上が営業CFにどれだけ貢献したか

9.2 $100 - \text{完成工事高対費用比率} = \text{完成工事高利益率}$

9.3 $= 100 - \text{完成工事高原価率} - \text{完成工事高営業利益率}$

9.4 動画で解説します